



募金百貨店プロジェクト ～寄付金付き商品の販売で社会貢献

三光車体工業様と覚書の調印式

旭川市共同募金委員会では、「寄付金付き商品」の販売を通じて、募金という“カタチ”で地域福祉に貢献していただける事業主を募集しています。それぞれの本業を活かして、旭川の福祉活動に応援をお願いします。



代表取締役 星山知則様(左)と旭川市共同募金委員会 会長 太田英司

三光車体工業 (台場1の6)
オイルエレメント交換1回につき10円が寄付されます。おかげさまで創業50年、まごころ込めて整備をいたします。



修理屋Café LAB lab (台場1の6)
果汁100%リンゴジュース1本につき10円が寄付されます。暑い夏は濃厚なソフトクリームもおすすめです。

市内、第1号店・2号店が協力開始！

寄付金付きピンバッジ 今年はジャンパーあさっぴー & カー娘ゆっきりん！

10年目を迎えた寄付金付きピンバッジは、これまでに皆様から5万1千個、2千5百万円以上のご協力をいただきました。

今年は、冬季オリンピックイヤーを記念して旭川にゆかりのある選手が活躍したスキージャンプ競技にあさっぴー、カーリング競技にゆっきりんが初挑戦です。ご協力いただいた寄付金は、福祉施設の福祉車両の購入費や福祉団体が行う事業に助成するほか、災害発生時には被災地支援にも役立たせていただきます。

今年も皆様のあたたかいご協力をよろしくお願いいたします。

■寄付金付きピンバッジ あさっぴー1個 500円 ゆっきりん1個 500円

(製作費以外はすべて寄付になります※製作費は未確定ですが、昨年は150円でした)

取扱 旭川市共同募金委員会(旭川市社会福祉協議会内)や、道の駅あさひかわ
場所 で販売しています。詳細はホームページをご確認ください。

数量限定!なくなり次第終了となります。お早めにお求めください!!



©ナカジマヨシカ

旭川市共同募金委員会
〒070-0035 旭川市5条通4丁目 旭川市ときわ市民ホール1階
社会福祉法人 旭川市社会福祉協議会内

TEL 23-0742 / FAX 23-0746
Eメール ash-kyobo@asahikawa-shakyo.or.jp
ホームページ <https://www.asahikawa-shakyo.or.jp/charity/>



旭川市社会福祉協議会にご寄付いただき、誠にありがとうございました。

【事業振興基金】
●宗教法人 真如苑様

【一般寄付】
●大道芸人 ヨモ様 ●中山 三枝子様
●ヤマサ暖房機器株式会社様



図書カードをプレゼント!!

「社協あさひかわ」に関するご意見や感想をお待ちしています。ご意見・ご感想をお寄せいただいた方の中から抽選で、3人の方に1,000円分の図書カードをプレゼントします。なお、当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

【応募方法】はがき・FAX・メールにて

【必要事項】①ご意見・ご感想 ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号

【応募締切】令和4年8月31日(木)まで(当日消印有効)

【応募先】旭川市社会福祉協議会の5条事務所(右ページ参照)まで

※ご意見・ご感想で得た個人情報は、プレゼントの抽選及び発送以外に使用しません。
※メールの場合、送信アドレスが変更となっておりますのでご注意ください。



社協 はじまりは あなたの笑顔から あさひかわ

このページは、赤い羽根共同募金の助成を受けています

共同募金運動期間
10月1日～12月31日



ご意見・ご質問を募集しています!「旭川市社会福祉協議会」まで

社会福祉法人 旭川市社会福祉協議会

<https://www.asahikawa-shakyo.or.jp>

【5条事務所】〒070-0035 旭川市5条通4丁目 旭川市ときわ市民ホール1階

TEL 23-0742 / FAX 23-0746 Eメール kikakusomu@asahikawa-shakyo.or.jp

【神楽事務所】〒070-8003 旭川市神楽3条4丁目1-18 TEL 60-1755 / FAX 60-1790



地区社協ってなあに?

地区社会福祉協議会の略称で、地域住民や町内会・市民委員会・地区民生委員児童委員協議会などが協力し、支えあいにより地域におけるさまざまな福祉課題に取り組む住民主体の福祉活動団体のことです。48の地区社協で安心見守り活動が実施され、43の地区社協で99のふれあいサロン(日常生活型)などが開催されています。(令和3年度実績)

市内にある53の地区社協の中から 東豊中央地区社会福祉協議会を紹介します

東豊中央地区社協(東光1～9の5・6、豊岡1～3の5・6、豊岡4の5・6(一部))では、一人暮らしの高齢者等を対象とした「安心見守り事業」や地域住民同士の交流を目的とした「ふれあいサロン事業」、高齢者世帯



を対象とした除雪活動などを実施しています。

コロナ禍以前は地域の一人暮らしの高齢者が集い、お話や昼食、東栄小学校との世代間交流などを楽しんでいました。

コロナ禍にあって、ふれあいサロンは休止していますが、地区社協役員やサロンのボランティアが、参加していた方の自宅を訪問し、手書きのメッセージを添えたクリスマスプレゼントや年賀状をお渡しする活動を行っています。
※写真は全てコロナ禍前です。



東豊中央地区社協 松原正雄 会長からのメッセージ



さまざまな活動が休止となり、担い手のモチベーションの維持や、サロン再開後、どのように立て直していくかということが課題であると感じています。

サロンは休止中ですが、今までサロンに参加されていた方に「サロンが再開したら、また来てください」というメッセージを添えた年賀状をお渡ししました。また、見守り活動についても、訪問の代わりとして電話による見守り活動が増えています。

コロナ禍でも、これまでのつながりを絶やさないう、工夫を凝らして活動を継続したいと思います。

